標準塗装仕様

工　程	塗料名	塗り回数	使用量（kg/m²/回）	塗り重ね乾燥時間（23℃）	希釈剤	希釈率（%）	塗装方法
素地調整	活膜は残すが、劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、よごれを除去し清掃する。釘頭がさびている場合は、サンドペーパー、研摩布などを用いてさびを除去し、さび止めとして、1液ハイポンファインデグロをはけなどで拾い塗りする。						
下塗り（劣化状況によりいずれかを選択してください）	ニッペ水性シリコン浸透シーラー	1	0.12～0.20	3時間以上	無希釈	―――	はけ・ウールローラーエアレススプレー
	ニッペパーフェクトサーフ	1	0.20～0.40	3時間以上	水道水	2～5	はけ・ウールローラー
	ニッペ水性シリコンエポサーフ	1	0.20～0.40	4時間以上	水道水	0～5	はけ・ウールローラー
			0.40～0.80			5～10	エアレススプレー
			0.60～0.80			―――	砂骨ローラー
上塗り	ニッペ水性シリコンセラUV各種	2	0.14～0.16	3時間以上	水道水	5～10	はけ・ウールローラーエアレススプレー

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）。旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。
※カタログに掲載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

施工上の注意事項（詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください）

- ごみ・ほこり・砂・油・樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。釘頭は、ニッペ1液ハイポンファインデクロを塗装してください。釘頭が発さびしている場合は、研磨紙などでさびを除去し、ニッペ1液ハイポンファインデクロを塗装してください。傷、穴は、下塗り塗装前にポリパテで穴埋めし、乾燥後研磨紙（P240～P320）で研磨、ウエスで拭き取り清浄な状態にしてください。新木の場合の乾燥程度は含水率15%以下としてください。下塗り塗装後、仕上がり向上の目的で研磨を行う場合は、乾燥後研磨紙（P240～P320）で研磨、ウエスで拭き取り清浄な状態にしてください。節止めにはラックニスなどを使用してください。
- つや消し系の製品では、はけ、ローラーでの塗装はムラが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや消し系の製品では、塗り継ぎや補修でつやムラが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量を守ってください。
- つや消し系の製品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんし、均一な状態でご使用ください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、塗り板見本を参考に試し塗りをしてください。
- つや調整品は、塗料液が分離しやすいので、よくかくはんしながらご使用ください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- 状況に応じて、汚染が発生しそうな個所には、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装することをおすすめします。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後24時間以内など乾燥不充分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生する恐れがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によって濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
- 塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行なってください。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ 一液浸透シーラー、ファイン浸透シーラーをご使用ください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- 素地は含水率10%以下、pH9以下となるように調整してください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。）
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- 上塗りは1回仕上げですので原則的に中塗りは共色で塗装してください。特に冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は必ず中塗りを共色塗装してください。
- 調色には必ず専用の原色をお使いください。
- 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。
- 大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生する恐れがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 開缶後は皮張りがしやすいため、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。
- 大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。

安全衛生上の注意事項　ニッペ水性シリコンセラUV　ホワイト

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- 粉じん／ガス／蒸気／スプレー等を吸入しないでください。
- 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- 汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 適切な保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用してください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
- 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- 取り扱った後、手を洗ってください。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
- 直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください／取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
- 施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 積み重ねは3段までとしてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
- 内容物／容器を廃棄する時には、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
- 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

*上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
□詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。
□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危　険	危険有害性情報
	飲み込むと有害のおそれ／強い眼刺激／アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ／発がんのおそれの疑い／生殖能力または胎児への悪影響のおそれ／水生生物に有害（急性）／長期的影響により水生生物に有害

日本ペイント株式会社
お客さまセンター
☎03-3740-1120
☎06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/

●当社は2011年3月現在、ISO14001を全事業所で認証取得しております。
●このカタログは、再生紙を使用しています。

■詳しい情報はホームページで　日本ペイント　建物　検索　http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html

カタログNo.
NP-O 148
NB110306T
2011年3月現在

ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆

水性シリコンセラ®UV

環境にやさしい

下塗りから上塗りまで全て水性塗料での施工が可能です。
取り扱いが安全で、いやな臭いもありません。
水性シリコンセラ UV は環境にやさしい水性塗料です。

高耐久性

水性シリコンセラ UV は、紫外線放射量の増加による塗膜の劣化を想定し開発されました。水性シリコンセラ UV なら外壁の劣化を抑え、高い耐久性を発揮します。

低汚染性

お住まいの外観を清潔に、長時間美しく保つことができます。
水性シリコンセラ UV は、外壁の汚染に対して優れた効果を発揮します。さらに、防藻・防かび機能もありますので、いやな藻やかび菌の発生を抑制することができます。

UV 日々、紫外線や風雨にさらされている家の外壁

幅広いつや調整機能が可能です

水性シリコンセラ UV はさまざまな光沢感の外観に仕上げることができます。
お好みに応じて、つや有り～つや消しまで幅広いつやが選べます。

シーラーは抜群の密着性です

ニッペ水性シリコン浸透シーラーは、水性でありながらすぐれた浸透力があり、シリコン・エポキシ反応硬化により密着性にすぐれたシーラーです。
ニッペパーフェクトサーフは、シーラーとフィラーの機能を兼ね備え、密着にすぐれ、省工程での施工が可能です。キメ細かい（超平滑）ので、上塗りの吸い込みが少なく、光沢のある仕上がりが得られます。

サーフェーサーは耐シーリング汚染性と目止め効果が抜群です

ニッペ水性シリコンエポサーフはシリコン・エポキシ反応によるマイクロガード機構により、水性サーフェーサーでありながらシーリング汚染を防止することができます。（シーリング材の種類・銘柄によっては多少差異があります。）また、面粗度の荒い下地に対して厚膜に付着し、素晴らしい仕上がりが得られます。

商品構成

	塗料名	容量	色相	つや
下塗り	ニッペ水性シリコン浸透シーラー	15kg	透明 ホワイト	——
	ニッペパーフェクトサーフ	15kg	白色	——
	ニッペ水性シリコンエポサーフ	15kg	ホワイト	——
上塗り	ニッペ水性シリコンセラUV	15kg	各色	つや有り 7分つや有り 5分つや有り 3分つや有り つや消し

適用下地

- 窯業サイディングボード（セメント無機繊維板、硬質木片セメント板、炭酸マグネシウム板、スラグ石こう板など）
- 在来工法（モルタル、コンクリート、PC、ALCなど）にも適用できます。
- 金属サイディング材の塗り替えの際は、ご相談ください。

※フッ素および無機コーティングした窯業サイディングボードへの適用は避けてください。

劣化現象		下塗り		上塗り
藻・かび、チョーキング 藻やかびによる汚れが目立つ。 色あせ、チョーキングが起こっている。	▶ ※藻やかびを除去する。	1液水性反応硬化形 シリコンエポキシ変性カチオン系壁用シーラー **ニッペ** **水性シリコン浸透シーラー** ニッペパーフェクトサーフもお使いいただけます。	▶	1液水性反応硬化形 セラミック変性シリコン樹脂塗料 **ニッペ** **水性シリコンセラUV**
シーリング汚れ 目地部のシーリング汚染が目立つ。	▶	1液水性反応硬化形 シリコンエポキシ変性カチオン系壁用下塗材 **ニッペ** **水性シリコンエポサーフ**	▶	1液水性反応硬化形 セラミック変性シリコン樹脂塗料 **ニッペ** **水性シリコンセラUV**
ヘアークラック ヘアークラックが目立つ。	▶	1液水性反応硬化形 シリコンエポキシ変性カチオン系壁用下塗材 **ニッペ** **水性シリコンエポサーフ** ニッペパーフェクトサーフもお使いいただけます。	▶	1液水性反応硬化形 セラミック変性シリコン樹脂塗料 **ニッペ** **水性シリコンセラUV**
割れ 割れが目立つ。	▶ ※割れの補修をする。	1液水性反応硬化形 シリコンエポキシ変性カチオン系壁用下塗材 **ニッペ** **水性シリコンエポサーフ** ニッペパーフェクトサーフもお使いいただけます。	▶	1液水性反応硬化形 セラミック変性シリコン樹脂塗料 **ニッペ** **水性シリコンセラUV**

水性シリコン 7つの 技術と効果

カチオン形

カチオン形であるため旧塗膜との密着性が高い。

浸透・固着力

風化した素地に浸透して一体化し強固に密着。

シロキサン結合

シロキサン結合により風化した素地と一体化し強固に密着。

防藻、防かび力

下塗りから上塗りまで全て防藻、防かび性のため、完全シャットアウト。

マイクロガード機構

緻密さがシーリング材の粘着性移行を止める。

親水性

塗膜表面を水になじみやすくすることで汚染物質を洗い流します。

透湿

透湿性が高いため結露から建物をまもります。